



11/12 (月) 税に関する作品、55人を表彰

11月11日から17日までは『税を考える週間』でした。各所で、税に関するイベントが一堂に実施されており、これらのイベントを通して、税の仕組みや役割について時代を担う児童・生徒に知ってもらい、考える機会とすることを目的としています。

浦添市では、税に関する書道（小学生）、標語（中学生）、作文（高校生）の作品を募集し、優秀作品の展示と表彰式を行いました。賞の受賞者は小・中・高生、合わせて55人でした。



10/21 (日) 港川地区、津波に備え避難訓練

マグニチュード8以上、震度6クラスの地震が発生し、30分後に港川一帯に高さ10mの津波が到達すると想定した「津波避難訓練」が行われました。

消防車や広報車も動員し、地域の方は海拔の低いところから高台に向け避難するというものでした。高齢者、障がい者、若い子どもがいる世帯の避難支援も行えるように意識したものでした。

最終避難場所では、市消防職員による応急手当訓練や消火訓練も行なわれ、参加者は、実際の災害に備え、心構えができた様子でした。



11/9 (金) 11/11 (日) 浦添の地場産品がサンエー経塚シティーに集合～

毎年恒例の「浦添の物産と観光展」が11月9日から11日までサンエー経塚シティーで開催されました。昨年までは、浦添市役所の1階市民ホールで開催していましたが、今年は、より広く浦添市を知ってもらおうと、大型スーパーでのPRを行いました。

会場にはうらそ織、桑の葉のお菓子やお茶のほか、市内の企業が生産している食品や工芸品などが、所狭しと並べられ、ご来場の皆さんは試食やショッピングを楽しんでいました。

開催中は、展示ブースに浦添市出身のタレントの田中真理子さんやお笑い芸人の浦添ウィンドウがやって来て展示品のレポートをするなど、会場を盛り上げていました。浦添仮面2号もいました。



10/31 (水) ねんりんピックソフトバレーボール優勝

60歳以上の高齢の方が中心となって行われるスポーツ交流大会「ねんりんピック宮城・仙台2012」が、10月13日から15日まで仙台で開催され、浦添市のてだこ遊球会が沖縄県代表として出場しました。てだこ遊球会のメンバーは、浦添市内の小学校などで練習を重ね、見事に優勝という栄冠を勝ち取り、その報告に副市長を表敬しました。

副市長は報告を受け「全国68チームの中での優勝おめでとうございます。今後もソフトバレーを多くの方に楽しんでもらえるよう広めてください」と激励しました。



10/21 (日) 牧港川を美しく、クリーンアップ

市民、市民団体、事業者、ボランティア、行政が「協働」して清掃活動を行い、牧港川を親しみのある川にしようと「第11回牧港川クリーンアップ作戦」が実施されました。

天気にも恵まれ、約450人が集まり、浦西中学校体育館裏の牧港川のごみ拾いや草刈りを行いました。2時間程の清掃作業で、約6トンのごみや草木が収集されました。

作業後、参加者は汗まみれになっていましたが、きれいになった牧港川を見て、満足そうな笑顔を浮かべていました。



11/4 (日) 笑いと音楽のコラボレーション

11月4日に、てだこホールで「宝くじおしゃべり音楽館」が開催されました。出演者は、司会・清水ミチコさん、歌・島田歌穂さん、ピアノ・小原孝さん、さらに藤野浩一さんが指揮を振る東京ニューシティー管弦楽団のオーケストラによる演奏が加わり、異色で豪華なキャストによって進行されました。

会場にはたくさんのお客さんが訪れ、1曲終わるごとに大きな拍手が起こりました。また、抽選会や清水ミチコさんによるトークライブなども行われ、笑い感動のある公演となりました。



10/20 (土) 10/21 (日) 琉球オペラ「アオリヤエ」大盛況

浦添ようどれを舞台とした尚寧王とその妃、阿庇理屋恵の物語、琉球オペラ「アオリヤエ～ようどれに眠る愛～」が10月20日（土）、21日（日）にてだこホールで公演されました。

総合演出、音楽監督の新垣雄さんによる指導の下、市内在住の中学生から20代の若者が、ワークショップを積み重ねて本番公演を迎えました。

会場は満員で大盛況でした。出演者の演技に歌、舞台下のオーケストラともにアマチュアとは思えないほどの迫力で会場を圧倒しました。